学位授与記録簿 Degree Registry (Ph.D)

アジア太平洋研究科

Graduate School of Asia Pacific Studies

	Graduate School of Asia Pacific Studies			
Name · DOB · Nationality	JAYAWARDANA Poori Gayangani Wasana	nima	5/16/1981	Sri Lanka
Last Institution Attended	March, 2014 Graduate School of Asia Pacific Studies Ritsumeikan Asia Pacific University Prospective Completion			
Degree Type	Doctor of Philosophy in Asia Pacific Studies	Date of Award	March 31, 2014	
Requirement for Degree Conferral	Refer to the Ritsumeikan Asia Pacific University Degree Regulations Article 13 Section 1 [Degree Regulation Article 4 Section 1]			
Title of Dissertation (日英)	Understanding Local Realities of Microfinance and Women's Empowerment Capabilities in Sri Lanka: The Perspective of the Samurdhi Program and its Beneficiaries in Two Adjoining Rural Communities スリランカにおけるマイクロファイナンスと女性のエンパワーメント能力の実態:サムルディ・プログラムと隣接する2村落コミュニティの受益者の観点から			
Examiners	(Supervisor) MIYOSHI Koichi		YOTSUMOTO Yukid	0
	OKAMOTO Mariko (Nihon Fukushi Univ.)			
Summary of Dissertation Contents				

し、マイクロファイナンス・プログラムと貧困女性に対するそのエンパワーメント能力の地方における実態を、スリランカのサムルディ・プログラムと隣接する2村落コミュニティの受益者の観点から調査することによって、マイクロファイナンスと女性のエンパワーメントの議論に対して知見を提供するものである。

本件研究では、その福利資金供与を含む統制の緩い政府プログラムとしての特性に焦点を当て、スリランカにおける多くの貧困地方女性に対するマイクロファイナンス提供機関としてのサムルディ・プログラムの支配的な役割について明らかにしている。他方、実態として、マイクロファイナンスの提供下のこれらの女性に対するプログラムの受益の多くが、彼らの生活状況を反映し事業活動融資が家族の実用へ最大限に活用されることによって家族の生活の質の向上への貢献になっていることを、それゆえにプログラム本来の目的である融資の直接的な、また経済的エンパワーメントに対する効果としては限定的であることを明らかにしている。しかし、融資の提供の促進や関連活動への関与のための小グループへの女性の組織化は、特に社会政治的なエンパワーメントに効果を生み出していることを併せ指摘している。また、隣接する2村落コミュニティの比較によって、サムルディ・プログラムへの参加を通しての受益女性の実績への影響とエンパワーメントへの効果の特性を提示している。

結果、本研究は、マイクロファイナンス対象者の生活のおける実態に焦点を当てることによって、マイクロファイナンス・プログラムのエンパワーメントに対する能力の実態について、特にスリランカのサムルディ・プログラムと隣接する2村落コミュニティの受益者の観点から、新たな経験的な知見と研究成果を提供するものであり、限られた文献に対して学術的に寄与するものである。

Although extensive research has been carried out on microfinance in Sri Lanka, there has been little discussion on its impact on women's empowerment. There have been even less studies in this context using a sound multi-dimensional conceptual framework.

Therefore, this dissertation responds to this situation and contributes academically to the limited literature. The dissertation provides and introduces interesting detailed explorations, descriptions, and interpretations as the results of analysis on the empowerment capabilities of microfinance, especially from the perspective of the *Samurdhi* program and its beneficiaries in two adjoining rural communities in Sri Lanka by highlighting the realities in the lives of recipients. Moreover, this dissertation also provides well thought policy implications for further development of microfinance in Sri Lanka.

Therefore this dissertation is worthy of the provision of a PhD degree.

Summary of Dissertation Screening Results

スリランカにおいてはマイクロファイナンスについて広範囲にわたる調査研究がなされているが、エンパワーメント女性へのその効果についての研究はいまだ少ない。特に、この文脈を踏まえ多元的な概念的枠組みを活用しての調査研究はさらに限られるものとなっている。

それゆえに、本論文はこのような状況に応えるものであり、また、限られた 文献に対して学術的に寄与するものである。本論文は、マイクロファイナンス・ プログラムの女性のエンパワーメントに対する能力の実態について、特にスリ ランカのサムルディ・プログラムと隣接する2村落コミュニティの受益者の観 点から、マイクロファイナンス対象者の生活における実態に焦点を当てること によって、興味深い詳細な探求、記述、そしてその解釈を研究分析の結果とし て提供している。また、スリランカにおけるマイクロファイナンスの発展に対 して熟考された政策的示唆を提示する。

よって、本博士論文は、博士号授与に値するものである。

Summary of Exam Result or Academic Skills

The candidate conducted her research properly and thoroughly over successive field visits in two adjoining communities in Sri Lanka and compiled the research as a dissertation. During her research period the candidate presented her research results in numerous international conferences and as published journal articles.

In the oral examination, the candidate sincerely and convincingly responded to the examiners to support her discussion on microfinance and women's empowerment. The candidate's responses were appropriate and indicated high calibre results of the research she presented and a compelling case for her academic contribution.

Therefore, this is worthy of conferral of the PhD degree.

本学位取得候補者は、スリランカの隣接する2村落コミュニティをフィールドとして継続的に訪問し調査研究を適切かつ完全に実施し、調査研究成果を博士論文として取りまとめている。また、同調査研究期間において、同候補者は研究成果を多くの国際学会で発表するとともに学会誌論文として刊行している。

口頭試問では、試験官の質問に対しマイクロファイナンスと女性のエンパワーメントについての議論を踏まえ、真摯にかつ説得力のある応答をしていた。その受け答えは、適切であり、この候補者が提示した調査研究がすぐれた力量のある結果であること、また学術貢献に寄与していることを示唆するものであった。

よって、博士号授与に値するものである。